

# くすりのしおり

注射剤

2024年05月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

## 製品名: アクラシノン注射用 20mg

主成分: アクラルビシン塩酸塩 (Aclarubicin hydrochloride)

剤形: 注射剤

シート記載など:



## この薬の作用と効果について

がん細胞の DNA に結合して RNA 合成を強く阻害することで、がん細胞の増殖を抑制します。

通常、胃癌、肺癌、乳癌、卵巣癌、悪性リンパ腫、急性白血病の治療に用いられます。

## 次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。心機能異常がある、または過去にあった。骨髄抑制がある。感染症を合併している。水痘（みずぼうそう）にかかっている。腎機能障害、肝機能障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

## 用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（  
: 医療担当者記入）
- ・固形癌、悪性リンパ腫：
  - (1) 通常、週に2回、1、2日連日または1、4日に静脈内注射、または点滴で静脈内に注射します。
  - (2) 通常、7日間連日静脈内注射、または点滴で静脈内に注射し、7日間休薬することを繰り返します。急性白血病：通常、10～15日間連日静脈内注射、または点滴で静脈内に注射します。
- ・具体的な使用期間については、担当の医師にお聞きください。

## 生活上の注意

- ・骨髄機能の低下や心筋障害などの重篤な副作用があらわれることがありますので、頻回に血液、肝臓、腎臓、心臓などの働きを調べる必要があります。その場合には、指定された日時に検査を受けてください。

## この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、食欲不振、吐き気、嘔吐、全身倦怠、口内炎、下痢、発熱などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・むくみ、胸の痛み、からだがだるい [心筋障害、心不全]
- ・貧血症状、発熱、出血傾向 [汎血球減少などの骨髄抑制]
- ・顔面蒼白、冷汗、立ちくらみ [ショック]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

## 保管方法 その他

## 医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。